

すぎもり 地区協議会だより

平成28年(2016年)1月

No4

地区協議会



11月15日防災訓練（撮影 土井）



“顔がつながる” 地区協を目指して

すぎもり地区協議会 会長 大野祐司

11月15日、調布消防署国領出張所、調布市消防団第7分団のご協力を得て、すぎもり地区協議会主催の防災訓練をおこないました。

この防災訓練は、参加することにより→顔がつながる→知り合いになる→いざという時に助け合える、という地域とのつながりを作ることが最大の目的であり、すぎもり地区協議会の、今年度方針「地域の防災力強化に関する活動」と「顔の見える地域を目指し、広く地域課題の把握・検討を行う」に沿ったものであったと思います。

杉森小学校地区にお住いの方、全員が対象の地区協議会です。今後もお気軽に活動に参加いただければと思います。

最後に、防災訓練にご協力いただいた調布消防署国領出張所の方々、調布市消防団第7分団の皆さん、ありがとうございました！



12月22日 運営委員会

すぎもり地区協議会は、杉森小学校地域に暮らす全ての人々や活動する団体が相互に協力し、支え合い、絆を深め、地域の課題を地域全体で考え、安全・安心を守り、豊かで活気あるまちづくりを目指すことを目的として、平成26年2月に設立いたしました。

1 防火、防災講話



2 応急救護訓練 (AED 取扱い訓練)



防火、防災講話を担当してくださった調布消防署国領出張所 津田所長



実際に担架に人を乗せての搬送訓練。

AED 訓練では事前に消防署で講習を受けた地区協の運営委員が、

指導する署員をサポート。



訓練用の人形は重さ 30 キロ。
その重さにびっくり。



消防士のユニフォームを試着できるコーナーもあり、
未来の消防士が
続々誕生！



11月15日、すぎもり地区協議会主催第1回防災訓練を
杉森小学校体育館に於いて行いました。調布消防署国領出
張所、調布市消防団第7分団の方々のご協力により、AED
訓練、通報訓練、煙体験等さまざまな訓練を実施しました。
当日は100名を越える参加があり、みなさん真剣に取り組
んでいらっしゃいました。



非常食アルファ米が配布されました。 ポンプ車を間近で見学。

日頃から家族で防災について話し合

4 煙体験ハウス



5 初期消火訓練



煙が充満する部屋の中を壁ずたいに歩く
リアル体験。(煙は無害です)

水の入った消火器で的をめがけての消火訓練。



森田校長先生

自分の命は自分で守る

すぎもり地区協にもご協力いただいている4月の『防災教育の日』をはじめ、杉森小学校では、毎月避難訓練を実施しています。【地震】を想定した避難訓練が3回、【火災】を想定した避難訓練も3回。【地震から火災が発生】を想定した避難訓練が最も多く5回。そして【不審者対応】訓練が1回です。どの訓練も命を守るために大切な授業ですので、児童は毎回真剣に訓練に臨んでいます。700名以上の児童が、およそ5分で避難し、静かに話を聞く態勢になります。今年度からは、教師が先導するだけでなく、自分たちだけで避難をする訓練にも取り組み始めました。自分の命は自分で守ることができるよう、今後も指導を続けていきます。

6 通報訓練



7 防災用品展示



落ち着いて通報ができるかな。

便利な防災グッズ。購入希望の方に申し込み用紙を配布しました。



杉本秀和さん
(介護老人保健施設
いなほ 事務長)

近隣の方と顔の見える関係に

今回の防災訓練では、AEDの担当でした。重要なのは次の2点です。

1. 助けを求める

2. 役割分担が必要⇒

- ・AEDを扱う人
- ・心臓マッサージをする人
- ・通報する人

今は感染症の心配があるので、人工呼吸はせず心臓マッサージのみでOKとのことです。心臓マッサージの方法は、胸の真ん中を垂直に押すのですが、実際にやってみると難しかったです。仕事柄、習っていた内容でしたが、なぜか慌ててしまい、指示を出すことができなかったりと、やはり体験してみることが大切だと思いました。今回、訓練を通じて思ったことは、街中でAEDのある場所を把握していないといけないなあということ。また、いざ倒れている人がいた場合に、勇気を持って駆け寄り、声を掛けること。これが一番出来そうで出来ないことかもしれないとも思いました。多くの人に関わってもらい、医療機関へ繋ぐことが大変だと改めて思い、地区協の一員として、この訓練に関わり近隣の方と顔の見える関係になれたことにより、万が一大震災が起こった時にも協力し合えると感じました。

参加された方の感想です

日頃からの心がけの大切さを認識しました。
(79歳)

やはり訓練は継続が大切
と思いました。(76歳)

マンションの防災訓練では
体験できなかった訓練(通報・搬送)ができて有意義
でした。この訓練をきっかけに地域でのつながりを持つことが大切であると感じ
ました。(58歳)

家族で参加できて何かの時の
備えになりました。(41歳)

消火器の使い方があいま
だったので詳しく説明をいた
だいてよかったです。(49歳)

若者の参加が増えたらな
ど感じました。(19歳)

折り畳みヘルメットが
欲しくなりました。
(29歳)

い、いざという時に備えましょう。



昨年秋、全市民に向けて配布された防災の本「東京防災」みなさんご覧になりましたか？

防災訓練当日、津田所長が講話の中でも紹介されました。災害に対する事前の備えや発災時の対処法など、今すぐ活用でき、いざというときにも本当に役立つ情報が、分かりやすくまとめられています。ぜひチェックしましょう！

今やろう。災害から身を守る全てを。

東京防災

もしも今、東京に大地震が起きたら。そのとき、家にいたら？地下鉄にいたら？真冬だったら？真夜中だったら？ひとりでいたら？守るべき誰かといたら？東京が一瞬にして姿を変えるその瞬間、あなたはどうする？今想像しよう。今正しい知識を得よう。今備蓄しよう。今家族や近所の人たちと話そう。一つひとつ小さな備えが、あなたを守る盾になる。人は、災害と戦える。今やろう。災害から身を守る全てを。

ご利用ください

この地域の身近な相談窓口です。お気軽にご相談ください。

福祉や介護に関する相談等は…

調布市地域包括支援センター ときわぎ国領

高齢の方やそのご家族が、地域で安心して暮らせるよう、福祉や介護に関する様々な相談ができる総合相談窓口として、調布市から委託を受けている機関です。

担当地区は染地2,3丁目、国領町7,8丁目(8丁目1,4番地を除く)です。お電話での相談や、状況に応じて職員がご自宅に訪問することもでき、適切なサービス等をご案内しております。



〈電話〉050-5540-0860
(9:00~18:00)

生活の相談、仲間づくりの相談等は…

調布市社会福祉協議会 市民活動支援センター

誰もがいきいきと安心して暮らしていくための生活の相談、趣味やボランティアを通した仲間づくりの相談の窓口として活動しています。

〈場所〉染地地域福祉センター内 ボランティア室

〈時間〉9時~17時

● ボランティアコーディネーター

渡邊久美子 (TEL 481-3790 火~土)

〈場所〉調布市総合福祉センター内

〈時間〉9時~17時

● 地域福祉コーディネーター

川原 泉 (TEL 481-7693 月~金)

お知らせ

2月7日(日) 耐寒マラソン

杉森、第二、染地、布田4つの健全育成推進地区委員会合同の耐寒マラソン大会が多摩川河川敷にて行われます。参加者も応援団もみんながんばれ！

3月30日(水) 三中吹奏楽部定期演奏会 17時30分開演 グリーンホール

「すべてに本気。心から心へ、感謝の気持ちを音で伝えよう。」をモットーに活動している三中吹奏楽部。今年も感動の演奏会♪まちがいなし！